

県外の若者の視点で、東北が抱える課題の解決策を導き出す。



立教大学  
RIKKYO UNIVERSITY



ロッケン  
東北6県研究所

立教大生が東北地域の課題解決を探る「グローバルリーダーシッププログラム」で連携。

東北6県研究所（ロッケン）（宮城県仙台市、所長 加勇田亮二）と立教大学（東京都豊島区、総長 西原 廉太）は、立教大学の全学共通科目で開講されるグローバル・リーダーシップ・プログラム（立教GLP）の科目のひとつ「GL101」において連携しています。このたび受講生がチームごとに作成した東北地域の課題解決案を発表して競うプレゼンテーションを実施し、7月3日（土）に行われた本選でクライアント賞・教員賞・学生賞が決定しました。

ロッケンは、株式会社東北博報堂（宮城県仙台市、代表取締役社長 當麻裕介）内に2019年に設立。東北だからこそ生まれるさまざまな事象を観察・研究して、そこで得られた知見を活かしてモノ・コトの実験、開発、社会実装までを行っています。

今回ロッケンから立教大学GL101受講生に与えられたテーマは「東北の課題をふまえて、県外の人を巻き込んで、東北地域にプラスをもたらす、新たなアイデアやプロモーションを県外からの視点で考えよ」。立教大学は2017年に岩手県陸前高田市にグローバルキャンパスを構えるなど震災復興に以前より取り組んでおり、今回は東北エリア外の大学ならではの創造的なアイデアを期待され、ロッケンとの連携に至りました。

学部学科を問わず集まった立教生を中心とした319名の受講生は60グループに分かれ、対象地域の設定・現状分析を行い、課題解決案を作成し、プレゼンテーションに参加。学生や県外の人間ならではの視点によるアイデアを競い合いました。

今後ロッケンでは、東北の課題や可能性を様々な角度から見立てて、市民や企業や学生など様々なプレイヤーと協業しながら、地域や社会を活性化させる、東北の未来をもっとおもしろくする、アクションを仕掛けてまいります。これからもロッケンの活動にもご期待、ご注目ください。

### 【受賞チームと提案テーマ】

#### ●クライアント賞（最高賞）・学生賞

- ・チーム/Ssems
- ・テーマ/山形県天童市「自転車を中心に天童市により良いサイクルをもたらす」

#### ●教員賞

- ・チーム名/たけこのたつ
- ・テーマ/福島県「大学生と農家さんが時間を共有するウェブサイト」

#### ●クライアント特別賞（2チーム）

- ・チーム名/コラボクション
- ・テーマ/岩手県八幡平市「空き家で安く、ベットと楽しめる宿泊施設を！」
- ・チーム名/ふくろう
- ・テーマ/青森県八戸市「方言の見える化」



本選の様子

#### 【参考：立教GLPについて】

世界のどこでも、誰とでも、自分らしくグローバルに活躍するために、英語と同等に重要なリーダーシップをスキルとして身につける立教独自のリーダーシップ開発プログラム。大学生が中心となって進行する学生による学生のための授業です。さまざまな学部・学年の学生や海外からの留学生が参加し、企業や団体の提示するプロジェクト課題に少人数のグループワーク形式で取り組む科目や、自身のリーダーシップをより発揮するための理論と実践を修得する科目が用意されています。日本語と英語、それぞれのコースがあり、目的に合わせて成長をしていくことができます。合計8科目あり、今回のGL101は日本語で開講される入門的な科目です。